

文化・芸術

「少年像」

1942年ころ 油彩・カンバス
22.5cm×15.6cm
(寄託作品)

松本竣介 (1912〜48年)

先週の「子ども」につづき、今回も、このほど寄託されましたもう一点の松本竣介作品を紹介します。

この作品は、1986年に東京国立近代美術館で開催された「松本竣介展」に出品されて以来公開はされていないようで、実に久しぶりに見ることができました。

小品ですが、茶色におおわれた画面に太い黒い線で、少年の顔が描かれています。モデルの若い男性を見ながら描いたというよりも、雑誌の写真などをみて、それに触発されて一気に描いたという印象です。形をおこす筆の線が走っているから、具象的なイメージをこわしながら、線で抽象的な表現を模索していた戦後の作品との関連からも考えてみたくあります。

また戦後、絵の具をはじめ物資がかぎられたなかで、茶色と黒を多用する作品と共通するところもあります。したがって制作年については、これから検討が必要でしょう。とはいえまぎれもなく竣介らしさが感じられるので、どうぞご覧ください。

(田中淳)

《名画の扉》

大川美術館常設展から

